

成果の実用化に関するお願い
 (販売先・共同開発等のパートナーについて)

受付番号： H10 - 405	主分類	複合材料	副分類	表面加工、成膜	電子デバイス
課題名： スーパーファイン化トリアジンチオール(SFTT)化合物を用いた直接成形接着による高気密性コネクタ					
(企業名) 株式会社 東亜電化					
(企業の主要な事業内容) メッキを中心とした表面処理業。弊社は通常メッキの他に潤滑メッキ、MID、マグネシウム合金の化成処理等の新しい表面処理技術に関して、表面処理業界からも高い評価を得ている。					
(利用分野・用途) 高耐久性コネクタ(自動車分野) コンピュータ関連電子部品に用いられる高性能コネクタ(電子デバイス分野)					
(特徴) 自動車用コネクタモデルを用いた評価では、金属を黄銅、樹脂を PPS とした場合、0.3Mpa 以上の耐圧性が確保され、ヒートサイクル試験(ATM オイル中、-40 ~ 140 、1000 サイクル)後にも 0.3Mpa 加圧にて漏れ無き事を達成した。					
(従来技術・競合技術) 本技術のように金属と樹脂を直接接着する技術は無く、競合する技術はない。また、コネクタ部品においては、漏れを防ぐ要求が高いところでも従来工法であるゴムパッキンの使用や金属と樹脂の隙間に接着剤を流し込む等して対応していた。					
(要望事項) 銅系金属と 6 ナイロン、PBT、PPS 等のインサート成形技術を応用した、直接接着技術を用いて、高気密性コネクタを製造する技術を構築しました。自動車メーカー、電子機器メーカーの方のご紹介を願います。					
(新技術の概要) 本技術は黄銅などの銅系金属と PPS などの耐熱エンブラを直接接着して、高気密性コネクタを作成するものである。本技術は金属を SFTT で処理することによって表面を活性化し、この金属を用いて樹脂をインサート成形する事によって、金型内で金属と樹脂が直接接着する技術を基礎としており、自動車などに用いる高気密性コネクタを作成するものである。					